厚生労働委員会

委員一覧 (25名)

委員長	島村 大 (自民)	木村 義雄 (自民)	浜口 誠 (民進)
理事	石田 昌宏 (自民)	自見 はなこ (自民)	伊藤 孝江 (公明)
理事	そのだ 修光 (自民)	鶴保 庸介 (自民)	三浦 信祐 (公明)
理事	馬場 成志 (自民)	藤井 基之 (自民)	倉林 明子 (共産)
理事	石橋 通宏 (民進)	三原じゅん子 (自民)	石井 苗子 (維新)
理事	山本 香苗 (公明)	宮島 喜文 (自民)	福島 みずほ (希会)
	石井 みどり (自民)	足立 信也 (民進)	薬師寺みちよ (無ク)
	小川 克巳 (自民)	小林 正夫 (民進)	
	大沼 みずほ (自民)	櫻井 充 (民進)	(29. 11. 30 現在)

(1) 審議概観

第195回国会において本委員会に付託された法律案は、内閣提出1件及び衆議院提出1件(厚生労働委員長1件)の合計2件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願21種類160件のうち、1種類1件を採択した。

〔法律案の審査〕

生活衛生 旅館業法の一部を改正する法律案(閣法第7号)は、旅館業の業務の適正な運営を確保すること等により、旅館業の健全な発達を図り、公衆衛生及び国民生活の向上に寄与するため、ホテル営業及び旅館営業の営業種別の統合、都道府県知事等による旅館業を営む者に対する緊急命令の創設、無許可営業者など旅館業法に違反した者に対する罰金の上限額の引上げ等の措置を講じようとするものである。委員会においては、本法律案の趣旨及び早期成立の必要性、旅館業に係る規制の在り方、違法民泊の現状及び対策等について質疑が行われ、採決の結果、全会一致をもって原案どおり可決された。なお、本法律案に対し、附帯

決議が付された。

肝炎 特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅸ因子製剤によるC型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法の一部を改正する法律案(衆第1号)は、C型肝炎感染被害者を救済するための特別措置法に基づく給付金の支給の請求の状況に鑑み、給付金の請求期限を法施行後10年から15年に延長しようとするものである。委員会においては、提出者である衆議院厚生労働委員長より趣旨説明を聴取した後、採決の結果、全会一致をもって原案どおり可決された。なお、本法律案に対し、附帯決議が付された。

〔国政調査〕

12月5日、我が国の雇用のあるべき姿についての厚労大臣の見解、次期診療報酬・介護報酬改定の方向性、先発医薬品の薬価を特許存続中は維持し期間満了後は後発医薬品と同額に引き下げる必要性、一貫した医師養成課程の制度設計に向けた厚労省の今後の取組、歯科衛生士及び

歯科技工士の人材育成・確保策の必要性、今後の地域におけるリハビリテーション推進に際して理学療法士を活用する必要性、次期診療報酬改定に向けた厚労大臣の見解、第3期がん対策推進基本計画の推進に向けた厚労大臣の決意、障害年金の受給手続の負担軽減に向けた厚労大臣の決意、「新しい社会的養育ビジョン」における今後の目標及び計画設定見通し、障害福祉サービス等報酬における食事提供体制加算の継続を求める当事者の声に対する厚労大臣の所感、がん分野のデータベース構築及び情報の利活用に対する厚労省の取組及び見解、建設アスベスト被害者を救済するための今後の厚労省の

取組に関する厚労大臣の見解、老年医学の推進の在り方に対する厚労大臣の見解等について質疑を行った。

12月7日、C型肝炎救済特別措置法による被害者の救済を促進するための取組及び厚労大臣の決意、平成30年度予算における肝がん患者への医療費助成制度の実現に向けた厚労大臣の決意、今後の肝炎検診の啓発活動に関する具体的取組、医薬品行政の監督・評価を行う第三者機関設置を厚労大臣のリーダーシップで実現する必要性、肝炎対策のためのWHOコラボレーティングセンターの機能強化に係る厚労省の支援の必要性等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成29年11月30日(木) (第1回)

- 社会保障及び労働問題等に関する調査を行うことを決定した。

○平成29年12月5日(火) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 我が国の雇用のあるべき姿に関する件、薬品等を通じた新薬開発製薬企業への支援の必要性に関する件、一貫した医師養成課程に向けた今後の取組に関する件、歯科保健医療の推進に関する件、地域におけるリハビリテーションの充実に関する件、次期診療報酬・介護報酬改定の方向性に関する件、がん対策の推進に関する件、障害年金の受給手続の改善方策に関する件、社会的養護の充実に関する件、障害福祉サービス等報酬における食事提供体制加算の在り方に関する件、医療等分野におけるビッグデータ等の利活用に関する件、建設アスベスト健康被害への対応に関する件、老年医学の推進に関する件等について加藤厚生労働大臣、丹羽文部科学副大臣、高木厚生労働副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

石橋通宏君(民進)、櫻井充君(民進)、自見はなこ君(自民)、石井みどり君(自民)、小川克巳君(自民)、宮島喜文君(自民)、三浦信祐君(公明)、伊藤孝江君(公明)、山本香苗君(公明)、倉林明子君(共産)、石井苗子君(維新)、福島みずほ君(希会)、薬師寺みちよ君(無ク)

- 旅館業法の一部を改正する法律案(閣法第7号)(衆議院送付)について加藤厚生労働大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成29年12月7日(木) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 旅館業法の一部を改正する法律案(閣法第7号)(衆議院送付)について加藤厚生労働大臣、高木厚生労働副大臣、大沼厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

[質疑者]

馬場成志君(自民)、そのだ修光君(自民)、足立信也君(民進)、浜口誠君(民進)、伊藤孝江君(公明)、倉林明子君(共産)、石井苗子君(維新)、福島みずほ君(希会)、薬師寺みちよ君(無ク)

(閣法第7号)

賛成会派 自民、民進、公明、共産、維新、
希会、無ク

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

- C型肝炎感染被害者救済等の肝炎対策に関する件等について加藤厚生労働大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

浜口誠君(民進)、倉林明子君(共産)、石井苗子君(維新)、福島みずほ君(希会)、
薬師寺みちよ君(無ク)

- 特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅸ因子製剤によるC型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法の一部を改正する法律案(衆第1号)(衆議院提出)について提出者衆議院厚生労働委員長高鳥修一君から趣旨説明を聴いた後、可決した。

(衆第1号)

賛成会派 自民、民進、公明、共産、維新、
希会、無ク

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○平成29年12月8日(金)(第4回)

- 請願第516号は、採択すべきものにして、内閣に送付するを要するものと審査決定し、第32号外158件を審査した。
- 社会保障及び労働問題等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。